

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 生殖システム進化を駆動するゲノム変化の原理解明と操作

2. 研究代表者名及び主たる共同研究者名

研究代表者

杉本 亜砂子（東北大学大学院生命科学研究科 教授）

主たる共同研究者

菊地 泰生（東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授）

吉田 恒太（新潟大学脳研究所 特任教授）

3. 事後評価結果

○評点：

A+ 非常に優れている

○総合評価コメント：

多様な線虫種を対象モデルとして、その研究対象としての利点を見事に昇華させた独創的で魅力的な新奇の比較ゲノム研究が展開された。ゲノムデザインの際に理解しておくべき染色体の特質が見事に提示された。また、染色体削減という予想外の発見が契機となった研究展開は興味深い。ゲノムは安定なものであるという固定観念を変えうる研究の方向性であり、新たなコンセプトを生み出す成果の創出が期待できる。さらに、TAQing システムを活用し、染色体数が変化した新線虫株を取得することができている。3 グループの共同体制及び CREST 太田チームとの共同体制が効果的に働き、学術的に重要な成果に結実させた点も賞賛に値する。領域の中でもっとも研究グループ間の連携が密に成されたチームであり、このことが線虫のゲノム比較からスタートした研究から生殖システムの多様性や種分化のメカニズムの発見、染色体削減という新たな研究対象の開拓に至るという、特筆すべき研究展開に繋がったと思われる。